

平成29年度 事業方針

1. 基本方針

〈目的〉

1. 岩手県における卓球の健全なる普及、発展と会員の統一を図ること。
2. 岩手県における登録会員の体力向上、技術力の強化に資すること。
3. 岩手県の卓球界を代表して関係団体に加盟する等を行うこと。
4. 当協会に従事する役員および委員、登録会員の健康に資すること。

〈施策〉

1. 大会運営

- (1) 大会開催目的、趣旨に遵守した事業内容とすること。
- (2) 開催にあたっては会計収支のバランスがとれていること。

2. 強化

- (1) 選手の技術向上、取組み姿勢の醸成に資する取組み。
- (2) 全国大会上位目標とする優秀指導者の育成を図る取組み。
- (3) 強化練習環境等の確保、充実を図る取組み。

3. 普及

- (1) 小学生、中学生の登録者拡大策の積極的な取組み。
- (2) 高齢者（ラージボール）の登録者増加策の実施。
- (3) 未登録者対象の卓球普及講習会等の企画、実施。

4. 加盟団体連携

- (1) 県民大会開催等による支部協会の組織力強化に資する取組み。
- (2) 登録クラブの活性化、発展に寄与する取組み。

5. 専門委員会

- (1) 各カテゴリーの競技力の向上および普及に寄与する取組み。
- (2) 専門的な見地から組織力の充実、発展に資する取組み。

2. 主要事業計画

(1) 全国・東北大会等

① アスリートパスウェイ東北・北海道ブロック大会

- ・期 日 平成29年10月27日(金)～29日(日)
- ・会 場 紫波町総合体育館
- ・宿 泊 ホテルオガールイン

(2) 県内主要大会

① 第69回岩手県民体育大会

- ・期 日 平成29年7月1日(土)～2日(日)
- ・会 場 二戸市総合スポーツセンター

3. 専門部・各委員会事業運営方針

(1) 高体連卓球専門部

- ① 高校生登録者への公認審判員資格取得制度の導入
対象 高校1・2年生 高校3年生任意

(2) ラージボール委員会

- ① 新委員会の発足
- ② ラージボール卓球競技者の普及、拡大
- ③ 本会主催のラージボール大会の新規開催（各市町村協会との連携）
- ④ 第31回全国ラージボール卓球大会（30年度）要綱変更への対応
 - ・開催時期 6月20日頃 ・会場 大分県 ・申込締切 4月20日頃
 - ・参加枠 シングルス 10名 混合ダブルス 9組
 - ＊以上に伴い、岩手県予選会開催

(3) 社会人委員会

- ① 県内社会人選手の競技力の向上、全日本大会上位進出のための施策を実施する。
- ② 各種社会人の大会への参加促進策、登録者の拡大策を実施する。
- ③ 県リーグの参加料の見直し、総合団体の開催月を変更する。

(4) レディース委員会

- ① 社会人委員会と同様の施策を実施する。
- ② 県レディース交流大会の参加者拡大に向けた施策を実施する。

(5) ホープス委員会

- ① 小学生および低学年への卓球競技普及、育成に向けた具体的施策を実施する。
 - ・小学生のクラブチーム発足のための講習会等を実施する。
- ② 各市町村協会と連携し選手登録の推進に資する取組みを強化する。

(6) カデット委員会

- ① 登録者の拡大に向けた具体的施策を実施する。
- ② 各学校の顧問、コーチを対象とした基本的な卓球競技講習会を開催する。

(7) 審判委員会

- ① 高校生登録者への公認審判員資格取得制度の導入に伴う講師派遣等
- ② 公認審判員資格者全体のネットワーク作りとレベル向上に資する取組み
- ③ 審判実務向上のために岩手県内及び全日本大会への審判員派遣等

(8) 障がい者スポーツ委員会

- ① S T T 競技の普及
 - ・各地域での S T T 競技の講習会、審判講習会等の開催
宮古市、大船渡市、北上市など
- ② 選手強化
 - ・愛媛障害者大会に向けた強化練習会の開催等
期間 7月から10月を予定
- ③ 役員派遣
 - ・岩手県障がい者スポーツ大会の大会運営協力等（29年6月3日）
 - ・全国障がい者スポーツ大会への役員スタッフの派遣等
- ④ 岩手県障がい者スポーツ協会（仮称）設立に関連する協力等

4. 会議の設置

役員会議を新たに設置、開催する。メンバーは、理事長、副理事長、各委員長で構成し、常任理事会等への提案内容などを事前に協議する。